

ナカヨグループは、お客様の課題解決に向け、
長年培ってきた現場力・技術力を活かし、
多様なニーズを先取りした商品・サービスを提供して
まいります。

代表取締役社長

谷本 佳己



株主の皆様におかれましては、平素より、格別のご支援ならびにご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
第80期（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）の事業の概要につきましてご報告申し上げます。

■事業の概要

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により経済活動が制限され、日本経済に大きな影響を与えております。その後、日本経済が段階的に動き出しつつあるものの、新型コロナウイルス感染症の変異株の拡大による第4波の到来等、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの関連するICT市場は、新型コロナウイルス感染症の拡大を予防するテレワーク等新たなビジネススタイルへの移行に向けて、通信インフラ関連の需要は増加しています。また、第5世代移動通信システム（5G）の関連設備等の増加が期待でき、成長の拡大が見込まれているものの、当社の主力商品であるビジネスホン関連の設備投資においては、リプレイス需要が中心であり大幅な売上増加が見込めない状況にあります。また、新型コロナウイルス感染症の影響によって対面での営業活動や設置工事が制限を受け、着工件数等減少傾向にあります。

このような状況下で、当社グループは2018年4月からスタートした「第四次中期経営計画」の最終年度を迎え、2020年12月25日に公表しております「業績予想及び配当予想ならびに中期経営計画の経営数値目標

の修正に関するお知らせ」のとおり経営数値目標の修正を実施いたしました。第四次中期経営計画では、『お客様のビジネスの発展をサポートする会社』を目指し、重点課題である「事業規模の拡大」と「経営体質の強化」に取り組んでまいりました。

・事業規模の拡大

「事業規模の拡大」に向けては、新型コロナウイルス感染症予防として、テレワークの機能を強化したNYC-SiエンハンスStep7の発売やwithコロナを見据えた商品提供を行い、営業強化に努めております。引き続き更なる成長発展を目指して、従来型の商品提供と共に、サポートサービスの拡充や、IoT関連の商品開発・機能強化を継続してまいります。

・経営体質の強化

「経営体質の強化」においては、スマート工場化や製造革新活動、管理部門によるRPAツールの導入・運用等により生産性の向上に注力してまいります。SDGsやESGへの取り組みについても重要な経営課題として認識しており、当社グループの中長期的な成長による持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

■当期の実績

新型コロナウイルス感染症の影響については、当社グループでは、対面での営業活動の他にお客様向けに新商品紹介の展示会やセミナーをWeb上で行う「NAKAYOウェビナー」を開催する等の営業活動を行ってきたものの、新規顧客開拓や設置工事関係の遅れ等による減少分を補いきれず、前連結会計年度より売上高が減少しております。

当連結会計年度の業績につきましては、売上高17,663百万円（前期比0.4%減）となりました。利益面については、売上高の減少及びソフトウェア取得による償却費が増加したものの、その他の経費削減により、営業利益397百万円（前期比11.2%増）、経常利益495百万円（前期比10.4%増）、固定資産廃棄損を特別損失として計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益271百万円（前期比7.4%増）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

～テレワーク・サテライトオフィスなどに最適～

ビジネスホンとの連携アプリケーション付「ハンドセット付クレードル」発売

オフィスで使われる電話機はスマートフォンが主流となっていく状況に対応し、スマートフォンを充電しながらハンドセットで通話ができる「ハンドセット付クレードル」を発売しました。

昨年度以降、働き方に大きな影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症の拡大により、サテライトオフィスや在宅での勤務およびワーケーションなど、既存のオフィスにしばられない働き方（テレワーク）が求められている現状をふまえ新商材提供を開始致しました。

本クレードルは、Bluetooth®でスマートフォンと接続することでハンドセットで通話ができます。

また、本クレードルには「NYC-Si」に接続する「多機能電話アプリケーション」「モバイルアシスト®」のライセンスが添付されるため、社内・社外を問わずスマートフォンによるオフィスの内線通話・外線通話を行うことができます。

なお、スマートフォンへの充電はワイヤレス充電で行います（スマートフォンの機種による）。

- ・「モバイルアシスト」は、(株)ナカヨの登録商標です。
- ・Bluetoothは、Bluetooth SIG,Inc.が所有する登録商標です。



ハンドセット付クレードル（NYC-HSCRAB-MFTMA）利用イメージ
写真右側の表示画面は、スマートフォンに搭載された「モバイルアシスト®」アプリケーションの表示例

～ビジネスホンを携帯網に直結し、かけ放題プランを有効活用～ 「モバイルネットワークアダプタA」発売



「モバイルネットワークアダプタA」
(MNWADPA)

ビジネスホンやSIP電話機を、携帯電話網に直接接続可能とする「モバイルネットワークアダプタA(MNWADPA)」を発売しました。

本装置は、携帯キャリアのSIMを直接収容しナカヨのビジネスホンと直結することで、ビジネスホン内線電話からの通話料金の削減が可能です。また、災害時など固定電話回線不通時の携帯電話網でのバックアップ用途や、臨時回線敷設ニーズへの対応を想定しております。



～小規模オフィス・店舗などにも最適、空間だけでなく手に触れる部分の除菌も可能～ 業務用小型オゾン発生器「エアクリーンNYC(ナイス)™」販売開始

オフィス・介護施設・学校・店舗・ホテルなどの除菌・消臭を行う業務用小型オゾン発生器の販売を2021年5月より開始いたしました。当社はこれまで通信機器の製造販売を主力とした事業を行ってまいりましたが、昨今の状況をふまえ、オフィスで働く人々に対して、一層清潔で安心な環境を提供したいとのコンセプトからオゾンの強力な酸化力によるウイルス除去、除菌、消臭効果に着目し今回の製品化に至りました。既に当社通信機器をお使いのお客様をはじめ、ウイルスの感染予防対策のひとつとして幅広いお客様にご活用いただければ幸いです。

●主な特長

- ① 使用する場所の隅々まで除菌・消臭
推奨適用面積6～48畳(約9.7～77.8㎡相当)。
面積に合わせた適切な濃度のオゾンを提供します。
- ② コンパクトなボディで取付・移動も簡単
据え置き設置のほか、付属の金具により壁掛け設置が可能です。
- ③ 信頼性の高い高性能オゾンナイザー搭載
高性能な低温プラズマ発生体を搭載しています。
- ④ 簡単メンテナンスで経済的
オゾン発生体、フィルタの清掃程度(月1回推奨)で、フィルタなどの定期交換は不要です。
ランニングコストは電気代のみ。



「エアクリーンNYC(ナイス)」ACN-01

※「エアクリーンNYC(ナイス)」は、(株)ナカヨの商標です(商標登録出願中)。

～「3密」を防いでの営業展開に活用～ ウェビナーによる各種説明会 (株)ナカヨとナカヨ電子サービス(株)共同で開催

新型コロナウイルス感染症の拡大により、3密を防いでの営業展開を余儀なくされる中、数多くのパートナー企業様及び新しい企業様との連携強化を目的に、新しい取り組みとしてウェビナーによる各種説明会、勉強会の実施を開始致しました。

東京本社ショールームからの発信で、様々なテーマで数十回以上にわたり開催し多数の皆様にご参加いただきました。

今後、より一層の充実を図りながら継続してまいります。

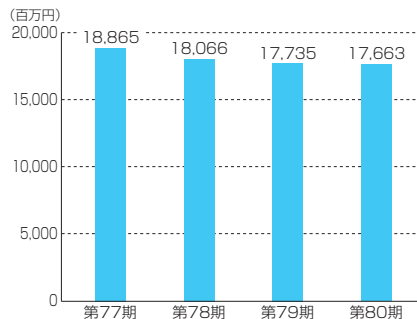
●主な開催内容

- ・ 各種新製品説明会
- ・ 通信と5G
- ・ CTIの現状と将来性
- ・ 通信のABC
- ・ 介護現場の革新と補助金

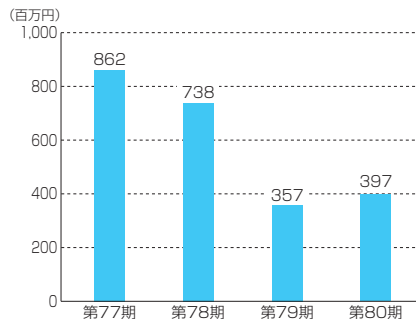


財務ハイライト

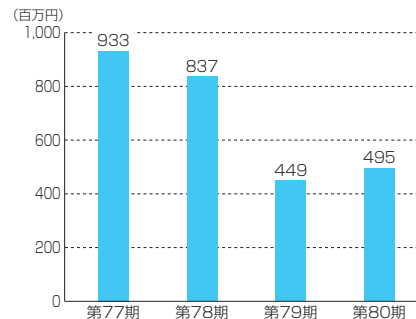
売上高



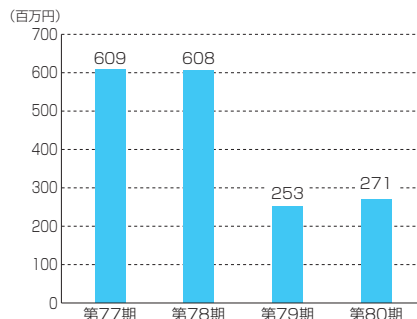
営業利益



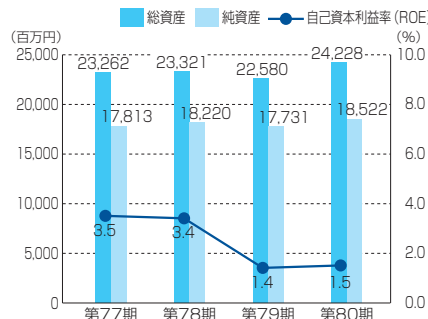
経常利益



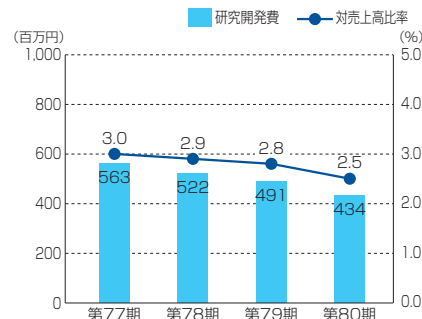
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産・純資産・自己資本利益率 (ROE)



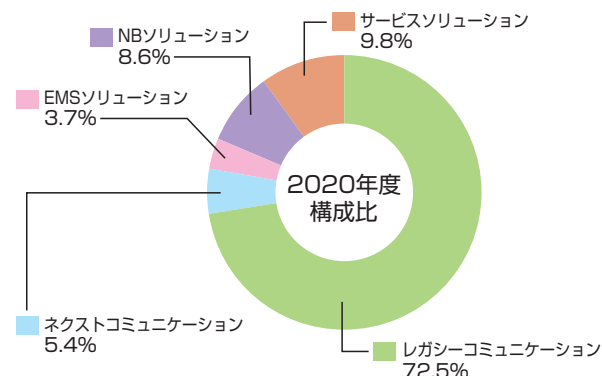
研究開発投資および対売上高比率



売上高構成比率

■レガシーコミュニケーション ビジネスホン、コードレス電話機、通報装置関連等	12,806百万円	
■ネクストコミュニケーション セキュリティ関連、インターホン関連等	950百万円	
■EMSソリューション 製造受託関連、受託開発等	651百万円	
■NBソリューション OA機器関連、介護/ヘルスケア関連等	1,515百万円	
■サービスソリューション オフィスNYCサポート、プロバイダ関連、保守・工事費等	1,739百万円	

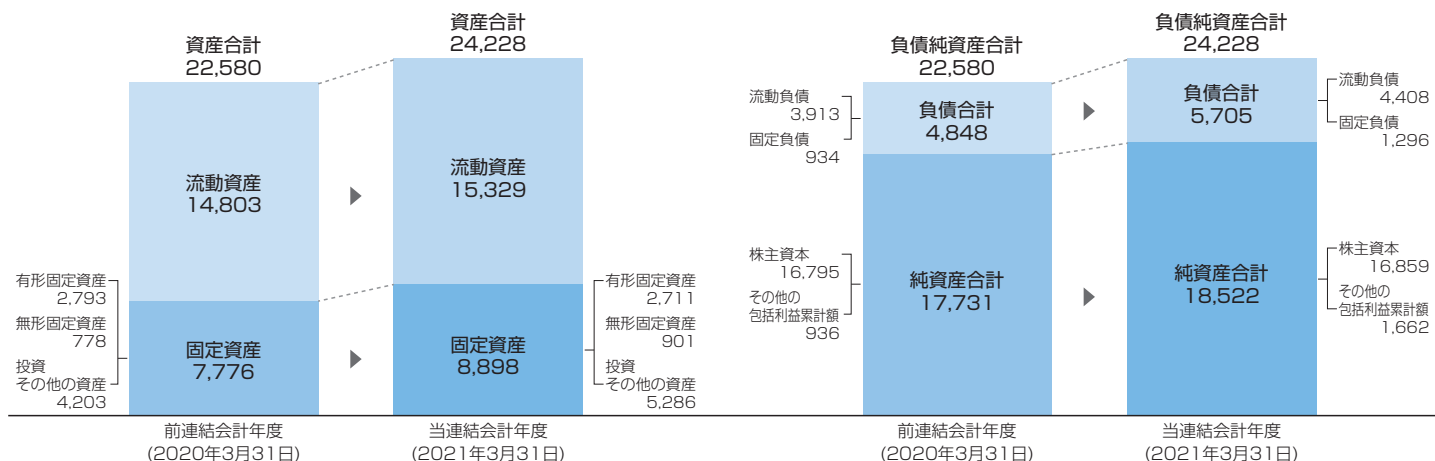
売上高構成比率



連結財務諸表

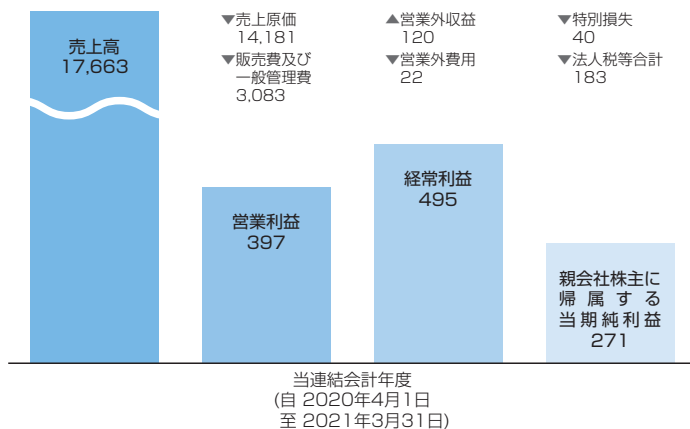
■ 連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円;切捨表示)



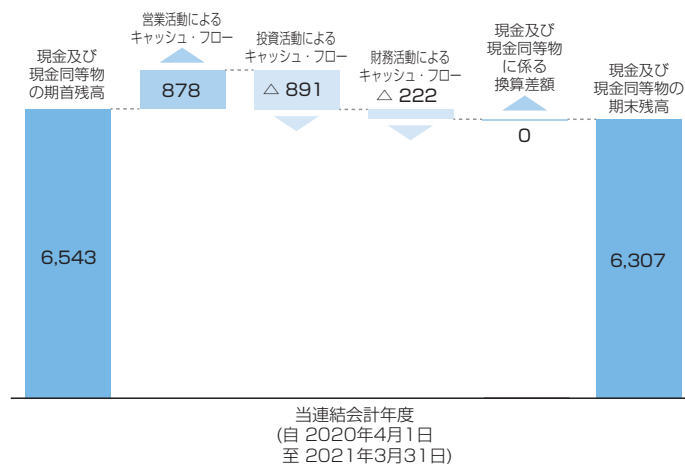
■ 連結損益計算書(要約)

(単位:百万円;切捨表示)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円;切捨表示)



事業拠点一覧

■当 社

株式会社ナカヨ

本 社・前 橋 工 場 〒371-0853 群馬県前橋市総社町一丁目3番2号
027(253)1111(代)

群 馬 工 場 〒379-2105 群馬県前橋市東大室町165番地
027(268)3000(代)

東京本社（営業統括本部・情報技術研究所）
〒108-0075 東京都港区港南一丁目7番18号
A-PLACE品川東7階

西 日 本 支 社 〒540-6591 大阪府大阪市中央区大手前一丁目7番31号
OMMビル7階
06(6314)6501(代)

北 日 本 事 業 所 〒016-0122 秋田県能代市扇田字扇淵4番5
0185(58)3611(代)

■連結子会社

ナカヨ電子サービス株式会社

本 社 〒108-0075 東京都港区港南一丁目7番18号
A-PLACE品川東7階
03(6712)1700(代)

NYCソリューションズ株式会社

本 社 〒108-0075 東京都港区港南一丁目7番18号
A-PLACE品川東7階
03(5460)1133(代)

株主メモ

事 業 年 度 4月1日～翌年3月31日

期 末 配 当 金 受 領 株 主
確 定 日 3月31日

中 間 配 当 金 受 領 株 主
確 定 日 9月30日

定 時 株 主 総 会 毎年6月に開催

株 主 名 簿 管 理 人
特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711（通話料無料）

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所

公 告 の 方 法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.nyc.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他
のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞
に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

株式会社ナカヨ

<http://www.nyc.co.jp/>

決算短信など、最新の企業情報をご覧ください。



株式会社ナカヨ

〒371-0853 群馬県前橋市総社町一丁目3番2号

TEL：027(253)1111(代)

